

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業担当	消防本部 消防救急課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: _____】		
目的・目標		事業の概要	
講習受講修了者数が増え、救命率の向上が図られています。		救急患者の救命率向上のため、応急手当講習会、普通救命講習会を実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	普通救命講習会開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	120	160	160	160		
	実績	131	174	160			
活動指標②	指標名	応急手当講習会開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	85	70	70	70		
	実績	103	60	56			
成果指標①	指標名	普通救命講習修了者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	3600	4300	4300	4300		
	実績	3451	3528	3021			
成果指標②	指標名	応急手当講習修了者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	2550	2450	2450	2450		
	実績	3259	2477	2488			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
普通救命講習会、応急手当講習会を開催しその講習会数、受講者数は目標に達しました。							
平成23年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>応急手当に関する市民ニーズが高まる中、普通救命講習会、応急手当講習会を開催し受講者が増えることから、事業の必要性が高いと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>普通救命講習会、応急手当講習会を受講することにより、救命の関心が高まり、自動体外式除細動器(AED)を使用できる人が増えることで、事業の有効性が高いと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>応急手当普及員講習会、普通救命講習会は、指導員の資格が必要であるため、消防職員が実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>□ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>事業所に対し応急手当普及員講習会を実施することにより事業所内の普通救命講習会受講者の増員を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
<p><b>今後に向けた課題の分析</b></p> <p>これからの将来を担う中学生を対象に応急手当講習会を授業の一環に加えるよう要請し、命の大切さや救命技術・知識についての普及啓発を行ないます。</p>				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		講習会の開催	講習会の開催	講習会の開催	講習会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	378	402	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,009	985	1,407	1,551
事業費 (A)		1,387	1,387	1,407	1,551
執行率 (%)		99.93	99.93	91.72	
内訳	職員 (人)	0.70	2.40	0.50	0.50
	再任用 (人)	0.50	0.80	0.80	0.80
人件費 (B)		7,575	22,549	6,741	6,730
フルコスト (A+B)		8,962	23,936	8,148	8,281

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<p><b>平成25年度の取組方針</b></p> <p>応急手当普及員を育成し市民の力を活用して応急手当の普及啓発を実施します。</p>
<p><b>課長コメント</b></p> <p>普通救命講習会、応急手当講習会の受講対象者の最年少の範囲を中学生から小学生5年生までに拡大し、更なる救命率向上を図ります。</p>